⑷　国立大学財務・経営センター債務負担金	(22,856)	(23,690)	(834)
⑸　長期借入金	(24,658)	(25,365)	(706)
⑹　未払金	(16,668)	(16,668)	—
⑺　リース債務	(7,492)	(7,779)	(287)
⑻　ＰＦＩ債務	(1,009)	(1,047)	(37)

（＊１）　負債に計上されているものについては、(　) で示しております。
（＊２）　未収附属病院収入に個別に計上している徴収不能引当金を控除しております。

㈱　金融商品の時価の算定方法

⑴　投資有価証券及び有価証券

満期保有目的の債券の時価については、取引金融機関から提示された価格によっております。また、その他有価証券は短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

⑵　現金及び預金、並びに⑶未収附属病院収入

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

なお、未収附属病院収入のうち貸倒懸念債権については、担保又は保証による回収見込額等により、時価を算定しております。

⑷　国立大学財務・経営センター債務負担金、⑸長期借入金

これらの時価については、元利金の合計額を新規に同様の借入を行った場合に想定される利率で割り引く方法により算定しております。

⑹　未払金

未払金は短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

⑺　リース債務、並びに⑻ＰＦＩ債務

これらの時価については、元利金の合計額を新規に同様のリース取引又はＰＦＩによる事業契約を行った場合に想定される利率で割り引く方法により算定しております。

Ⅶ．賃貸等不動産に関する注記

当法人は宮城県その他の地域において、賃貸等不動産を保有しておりますが、賃貸等不動産の総額に重要性が乏しいため、注記を省略しております。

Ⅷ．資産除去債務に関する注記

１．資産除去債務の概要

石綿障害予防規則等の規定に基づく建物のアスベスト除去義務、放射性同位元素等による放射線障害の防止に関する法律等の規定に基づく放射線同位元素等を使用している建物の放射線の除去義務及び土地の賃貸借契約に伴う原状回復義務であります。

２．資産除去債務の金額の算定方法

使用見込期間を残存耐用年数から９年～48年と見積もり、割引率は1.22%～2.15%を使用して資産除去債務の金額を計算しております。

３．当事業年度における当該資産除去債務の総額の増減

期首残高	832百万円
時の経過による調整額	15百万円
期末残高	847百万円

（重要な債務負担行為）

１．ＰＦＩ事業　（単位：百万円）

件名	契約金額	翌期以降支払金額
東北大学（三条）学生寄宿舎整備事業	2,551	1,483

２．重要な工事請負契約　（単位：百万円）

件名	契約金額	翌期以降支払金額
（片平）総合研究棟（流体科学系）改修工事	118	61
（片平）災害復旧（本部・金研等）改修工事（前払）	157	79
（片平）災害復旧（アルファ放射体実験室）機械設備その他工事（完成払）	154	77
（片平）災害復旧（多元研等）改修工事	144	72
（片平）災害復旧（通研等）改修工事（前払）	152	76
（星陵）災害復旧（医学部等）改修工事（完成払）	226	124
（星陵）災害復旧（加齢研・歯学部）改修工事	229	115
（雨宮）災害復旧改修工事	227	114
（川内１）災害復旧（川北（東））改修工事	225	119
（川内１）災害復旧（文系４学部等）改修工事	423	227
（青葉山１）災害復旧（機械・知能系）改修工事	121	61
（青葉山１）災害復旧（情報科学・シナジー）改修工事	283	142
（青葉山２）災害復旧（理学部・薬学部）改修工事	306	153
（富沢）災害復旧改修工事	99	68
（三条１外）災害復旧改修工事	128	64
（青葉山１）災害復旧（マテリアル・開発系実験研究棟等）屋外電力線等工事	183	183
（星陵）災害復旧（病院等）改修工事	190	190
（三条）国際交流支援センター新営その他工事	891	891
（片平）外国人研究員等宿泊施設新営その他工事	774	384
（片平）外国人研究員等宿泊施設新営その他電気設備工事	120	72